

## 共生社会の実現に向けた交流及び共同学習の在り方について

～持続可能な交流及び共同学習の実践～

千葉県立檜の実特別支援学校 電 話 0438-62-1164  
F A X 0438-63-8455



### 研究のポイント

第3次千葉県特別支援教育推進基本計画で交流及び共同学習の充実が求められている。副次的な籍の研究についてはシステムを確立することで、小中学校が特別支援学校の児童生徒を自らの学校に所属する児童生徒として認識できるようにしていく。

形式的になりがちな学校間交流の目的を再確認し、よりつながりのあるものとして実施できるように、事前事後学習の充実に取り組んだ。

### ■学校の概要 <https://cms2.chiba-c.ed.jp/makinomi-sh/>

本校は、千葉県袖ヶ浦市に昭和45年に開校した知的障害を対象とする特別支援学校である。袖ヶ浦市と市原市姉崎地区の小学部1年生から高等部3年生まで計207名が在籍している。また、肢体不自由を併せ有する児童生徒や、医療的ケアを必要とする児童生徒も通学している。

今年度は、15名の児童生徒が居住地校交流を行っており、小・中・高等部が近隣校の同年代の児童生徒とゲームやボッチャを通じた学校間交流を行っている。

### ■研究課題

障害の有無にかかわらず居住する地域で共に学び育つための交流及び共同学習のシステムの在り方について実践研究を行う。

### ■研究の目的と方法

1 目的  
「共生社会の実現に向けて、副次的な籍のシステムの構築と学校間交流の充実を図る」

2 方法  
【副次的な籍システム】  
○袖ヶ浦市教育委員会と協働で「副次的な籍実施要綱」の作成を行い、副次的な籍のシステム構築を図る。

○打合せシートや実施計画を使って事前協議し、交流及び共同学習の目標を両校で明確にし、相互理解する。

#### 【オンライン交流】

○オンライン交流を定期的に行い、副次的な籍の在り方を探る。  
○副籍校の授業にオンラインで参加する。

#### 【学校間交流】

○学部紹介動画を交流校に送ることで、本校の児童生徒の理解を促し、児童生徒の主体的なかかわりにつなげる。  
○交流及び共同学習の共同学習（教科）の側面に焦点を当て、教科の視点で目標を立て、達成状況を評価する。

## ■研究概要

### 3 実践

#### 【副次的な籍システム】

- 地域の実態に合わせて「副次的な籍実施要綱」を作成
- 袖ヶ浦市立の小学校3校と本校児童3名が副次的な籍による交流を実施
- 副籍校に机、イス、下駄箱等の設置
- 打合せシートで交流の目標を明確化、実施計画で授業ごとに教科の目標を明確化、実施報告書で評価を記載

#### 【オンライン交流】

- オンライン交流を直接交流の前日と翌日に行い、事前事後学習を実施
- 副籍校の音楽の授業にオンラインで参加

#### 【学校間交流】

##### 小学部：袖ヶ浦市立蔵波小学校（年6回）

- 学級毎にゲーム
- 学部紹介動画を作成

##### 中学部：袖ヶ浦市立平川、根形、昭和中学校（各校1回ずつ）

- 共同学習（体育）の資質能力の育成を目指し、市原ボッチャクラブから事前指導を受け、交流校にボッチャのコツを伝える。
- 学部紹介動画とボッチャ説明動画を作成
- ボッチャ対戦

##### 高等部：千葉県立袖ヶ浦高等学校（年1回）

- 高校の学校祭にて作業製品の販売会
- ボッチャ対戦

### 4 成果

#### 【副次的な籍】

- 副籍校Co.や担任と連携しながら、机やイス等の設置を進めることができ、児童から「在籍校と同じように学べて安心する。」と感想が聞かれた。
- 打合せシートや実施計画があることで、交流の目標と教科の目標を整理でき、交流後の評価につながった。

#### 【オンライン交流】

- オンライン交流を行うことで、直接交流と合わせて年間10回程の交流機会をもつことができ、クラスメイトとしてのつながりが深まった。
- 「いつでも会えて嬉しい。」「緊張せず話せた。」と両校の児童から感想が聞かれた。

#### 【学校間交流の充実】

- 学部紹介動画を作成したことで、相手校の児童生徒が本校のことを理解することができた。交流後のアンケートから交流に対して前向きな意見が聞かれた。
- 本校中学部の生徒は、市原ボッチャクラブからの事前指導で、ボッチャの基礎が身に付き、交流校ヘルールや投げ方のコツを伝えることができた。交流校生徒についても、ボッチャを通して体育の資質能力が身に付いた。

### 5 展望

#### 【副次的な籍】

- 副次的な籍の取組を、学区全域へ広げていく。職員や保護者への周知。

#### 【オンライン交流】

- オンライン交流を行うための機材や場所、人の調整。内容の見直し。

#### 【学校間交流】

- 交流回数や内容を検討。

- 「共同学習」の側面である教科の資質能力の育成を全学部で目指す。

## 関連資料

### 《参考資料》

- 『特別支援教育における交流及び共同学習の推進』 [ジアース教育新社 令和5年3月]
- 『副次的な籍実施要綱』 [野田特別支援学校]
- 『打合せチェックシート』 [東金特別支援学校 新宮晃教諭 長期研修報告資料]

